UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇MKU-250433-0000-20250520◇

三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）

追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

作成対象期間：2024年５月21日～2025年５月20日
第　23　期 決算日：2025年５月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、内外の株式・債券に投資し、リスク軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図るため各資産の指数を独自に合成した指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第23期末（2025年５月20日）	
基準価額	28,681円
純資産総額	336,173百万円
騰落率	－0.4％
分配金合計(*)	0円

（*）当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法　https://www.am.mufg.jp/　［ファンド検索］にファンド名を入力　各ファンドの詳細ページで閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

■当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の９：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第23期：2024年５月21日～2025年５月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移

第 23 期 首	28,794円
第 23 期 末	28,681円
既払分配金	0円
騰　落　率	－0.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.4%の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（－0.1％）を0.3%下回りました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

主に国内債券市況が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
ＴＯＰＩＸマザーファンド	1.5%	33.3%
外国株式インデックスマザーファンド	5.9%	18.2%
日本債券インデックスマザーファンド	－4.0%	40.6%
外国債券インデックスマザーファンド	－1.9%	5.0%

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、合成指数です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2024年５月21日～2025年５月20日

１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額（円）	当期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	73	0.253	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(38)	(0.132)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.077)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(13)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.001	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c)有価証券取引税	1	0.002	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d)その他費用	1	0.002	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.002)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	75	0.258	

期中の平均基準価額は、28,706円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

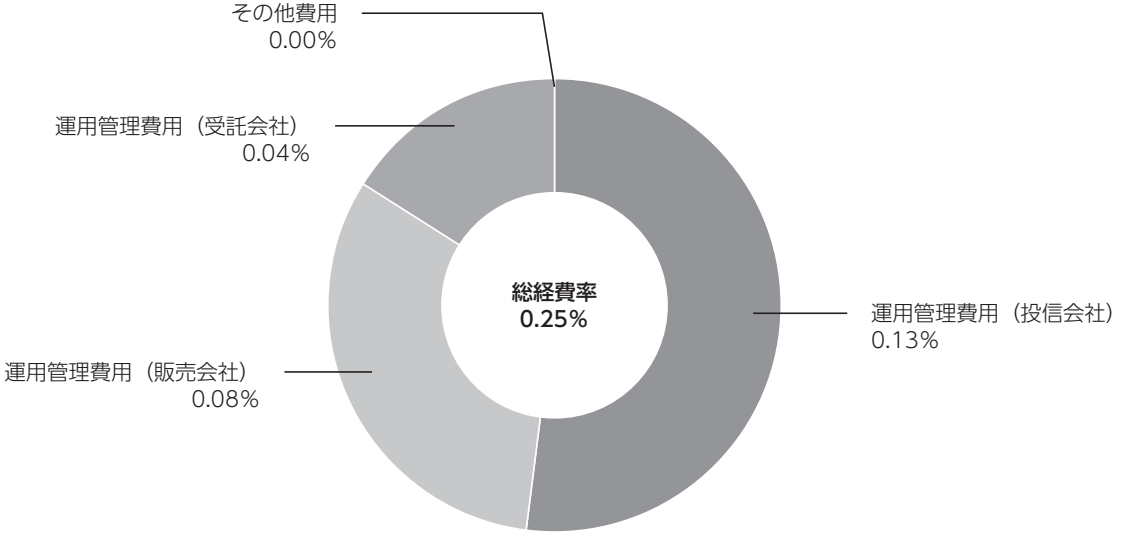
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

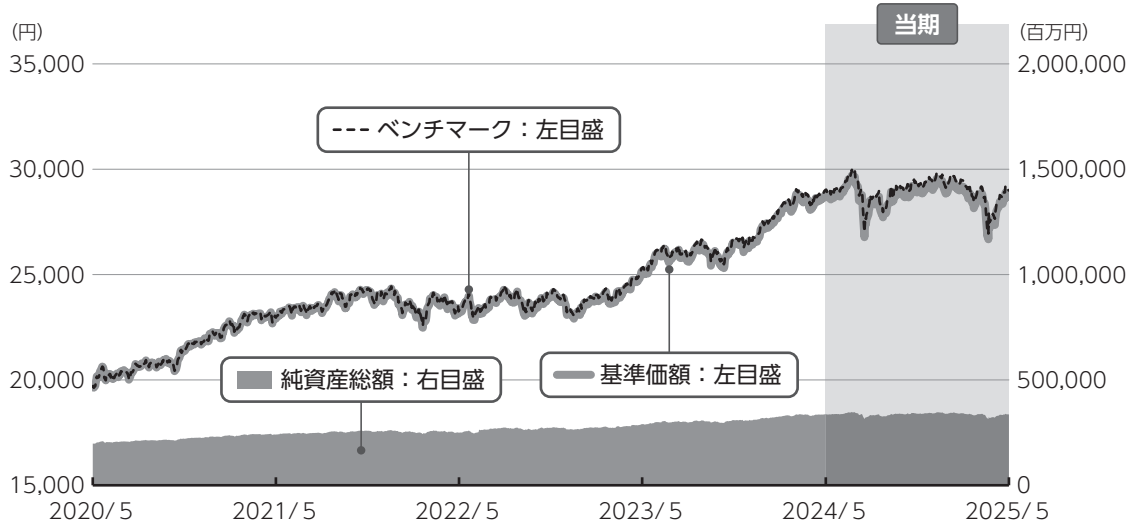
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.25%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2020年５月20日～2025年５月20日

最近５年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、2020年５月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近５年間の年間騰落率

		2020/5/20 期初	2021/5/20 決算日	2022/5/20 決算日	2023/5/22 決算日	2024/5/20 決算日	2025/5/20 決算日
基準価額	(円)	19,676	22,905	23,197	25,204	28,794	28,681
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	－	16.4	1.3	8.7	14.2	−0.4
ベンチマーク騰落率	(%)	－	16.7	1.5	8.8	14.5	−0.1
純資産総額	(百万円)	197,716	240,508	249,687	290,401	337,318	336,173

ベンチマークは、合成指数です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第23期：2024年５月21日～2025年５月20日

投資環境について

▶ 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

好調な企業業績等を背景に国内株式市況は上昇しました。

▶ 外国株式市況

外国株式市況は上昇しました。

米国関税発の国際貿易摩擦を警戒する動きなどを受けて外国株式市況は下落する局面もありましたが、主要国での政策金利の引き下げや、関税に対する強硬姿勢の緩和などを受けて上昇して期間を終えました。

▶ 国内債券市況

国内債券市況は下落しました。

国内債券市況は、期間の初めは日銀の利上げ観測の高まりなどから下落した後、米景気後退懸念などを背景に反発しました。その後、日銀の更なる金融引き締めに対する警戒感や、政策金利の引き上げなどを受けて国内債券市況は、期間の後半にかけて下落しました。期間の終わりには米相互関税による景況感の悪化に伴い上昇する局面があったものの、期間を通じてみると下落しました。

▶ 外国債券市況

先進国の債券市況は上昇しました。

先進国の債券市況は、米国のトランプ政権の誕生をはじめとした各国の財政・経済政策の不確実性の高まり等を背景とした金利上昇により下落する局面もありましたが、景気の先行き懸念による利下げ期待や利金が積みあがったことなどから、期間の初めとの比較では上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べて米ドル、ユーロは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）

内外の株式・債券に投資し、リスク軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図るため各資産の指数を独自に合成した指数に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

日本債券インデックスマザーファンド受益証券42％、外国債券インデックスマザーファンド受益証券５％、ＴＯＰＩＸマザーファンド受益証券33％、外国株式インデックスマザーファンド受益証券17％、短期金融資産３％の比率配分として基準ポートフォリオを構築しました。

▶ＴＯＰＩＸマザーファンド

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークである東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

▶外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークであるＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物・不動産投資信託証券（ＲＥＩＴ）を含む）を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

（注）マルチファクターモデル
株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・通貨・企業規模など）に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

▶日本債券インデックスマザーファンド

資産のほぼ全額を債券（先物を含む）に投資し、高い公社債組入比率を維持しました。

ベンチマーク（ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合）の構成銘柄を種別や年限等の属性でグループに区切り、ベンチマークの各グループの比率とポートフォリオの同じグループの比率を極力近づけるように、ポートフォリオを構築しました※。

※一般的に、このような手法を層化抽出法といいます。

▶外国債券インデックスマザーファンド

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ベンチマークの動きに連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）

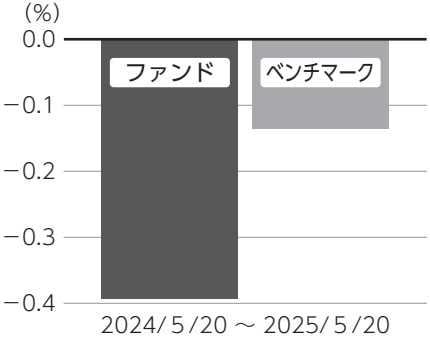
基準価額の騰落率は、0.4％の下落となり、ベンチマークの0.1％の下落を0.3％下回りました。

差異の内訳は以下の通りです。

（内訳）

ＴＯＰＩＸマザーファンド	0.0％程度
外国株式インデックスマザーファンド	0.0％程度
日本債券インデックスマザーファンド	0.0％程度
外国債券インデックスマザーファンド	0.0％程度
その他（信託報酬等）	△0.3％程度

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



▶ＴＯＰＩＸマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：取引要因によるものです。

主なマイナス要因：その他の要因※によるものです。

※配当評価差異等が含まれます。

▶外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：その他の要因※によるものです。

※その他の要因には、ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異によるプラス要因などが含まれます。

主なマイナス要因：組入要因によるものです。

▶日本債券インデックスマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：ポートフォリオ要因によるものです。

主なマイナス要因：取引要因によるものです。

▶外国債券インデックスマザーファンド

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：ありません。

主なマイナス要因：評価時価差異要因※によるものです。

※ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる債券時価や為替レートが異なるため生じる要因です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第23期 2024年５月21日～2025年５月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	19,285

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）
資産配分方針は、従前通り基準ポートフォリオを維持します。また、各資産の組入比率は、期間を通じて同比率に準ずるよう調整を行います。

▶ＴＯＰＩＸマザーファンド
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

▶外国株式インデックスマザーファンド
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

▶日本債券インデックスマザーファンド
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

▶外国債券インデックスマザーファンド
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

▶約款変更

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2025年４月１日）

・2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

▶その他

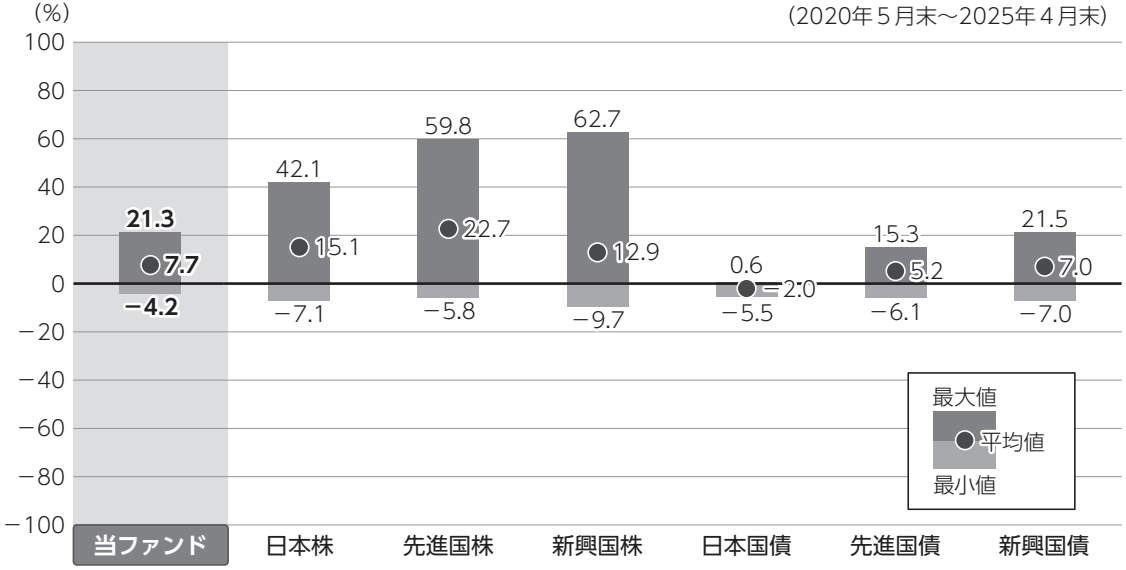
・東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。（2024年11月５日）

＊本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から２ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／インデックス型
信託期間	無期限（2002年11月８日設定）
運用方針	日本債券インデックスマザーファンド受益証券、ＴＯＰＩＸマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券および外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、リスク軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標として運用を行います。日本債券インデックスマザーファンド受益証券42%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券５%、ＴＯＰＩＸマザーファンド受益証券33%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券17%、短期金融資産３%の比率配分として基準ポートフォリオを構築します。
主要投資対象	**■当ファンド** 日本債券インデックスマザーファンド受益証券、ＴＯＰＩＸマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券および外国株式インデックスマザーファンド受益証券に主として投資します。なお、株式、公社債に直接投資することもできます。
	■ＴＯＰＩＸマザーファンド 東京証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
	■外国株式インデックスマザーファンド ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式を主要投資対象とします。
	■日本債券インデックスマザーファンド ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合に採用されている公社債を主要投資対象とします。
	■外国債券インデックスマザーファンド ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に採用されている国債を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界各国の株式、公社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保のため各資産の指数を独自に合成した指数をベンチマークとし、当該ベンチマークに連動する投資成果をめざします。
分配方針	毎年１回決算（原則として５月20日。ただし、５月20日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益等が少額の場合には分配を行わないこともあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2020年５月から2025年４月の５年間における１年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日　本　株	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株	ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）
先進国債	ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2025年５月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：４銘柄）

ファンド名	第23期末 2025年５月20日
日本債券インデックスマザーファンド	40.6%
ＴＯＰＩＸマザーファンド	33.3%
外国株式インデックスマザーファンド	18.2%
外国債券インデックスマザーファンド	5.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。
※上記のうち、上位３ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

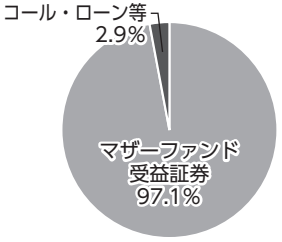
純資産等

項　目		第23期末 2025年５月20日
純資産総額	(円)	336,173,652,200
受益権口数	(口)	117,209,953,111
１万口当たり基準価額	(円)	28,681

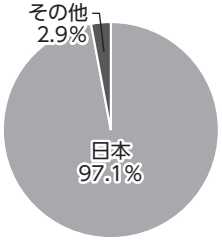
※当期中において追加設定元本は12,623,858,791円
同解約元本は　12,562,224,212円です。

種別構成等

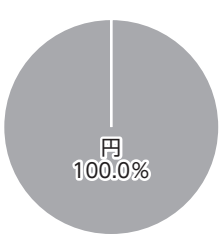
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

968374

2025年５月12日現在

組入上位ファンドの概要

▶日本債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2024年５月13日～2025年５月12日

１万口当たりの費用明細

2024年５月14日～2025年５月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.000
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000
期中の平均基準価額は、12,422円です。		

※項目の概要については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

組入上位10銘柄

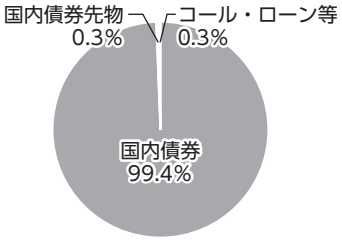
（組入銘柄数：1,000銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	第149回利付国債（５年）	債券	日本	国債	1.2
2	第373回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.1
3	第374回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.1
4	第359回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.1
5	第365回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.1
6	第361回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.1
7	第154回利付国債（５年）	債券	日本	国債	1.1
8	第358回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.0
9	第369回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.0
10	第368回利付国債（10年）	債券	日本	国債	1.0

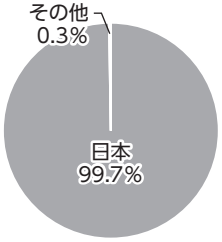
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

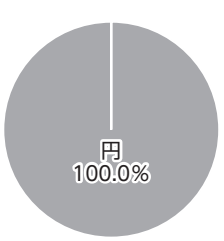
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

968294

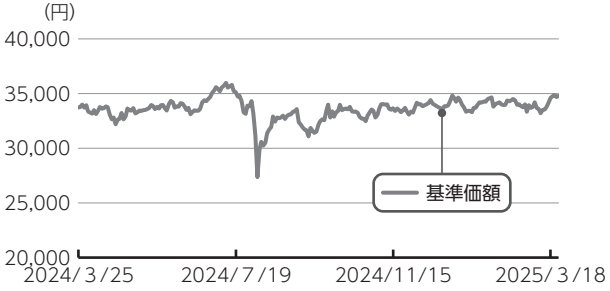
2025年３月25日現在

組入上位ファンドの概要

▶ＴＯＰＩＸマザーファンド

基準価額の推移

2024年３月25日～2025年３月25日



１万口当たりの費用明細

2024年３月26日～2025年３月25日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.001
（株式）	(0)	(0.000)
（先物・オプション）	(0)	(0.001)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は、33,558円です。		

※項目の概要については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

組入上位10銘柄

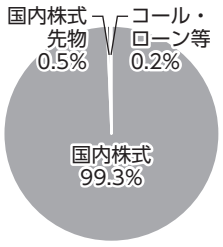
（組入銘柄数：1,693銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	3.8
2	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	3.4
3	ソニーグループ	株式	日本	電気機器	3.2
4	日立製作所	株式	日本	電気機器	2.4
5	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	2.0
6	任天堂	株式	日本	その他製品	1.7
7	リクルートホールディングス	株式	日本	サービス業	1.7
8	キーエンス	株式	日本	電気機器	1.5
9	みずほフィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.4
10	東京海上ホールディングス	株式	日本	保険業	1.4

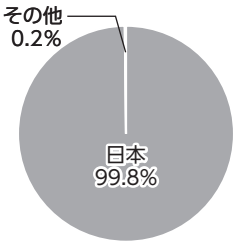
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

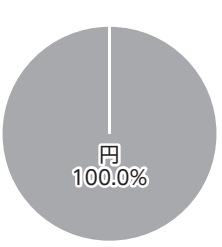
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。
※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

968364

2025年５月12日現在

組入上位ファンドの概要

▶外国株式インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2024年５月13日～2025年５月12日

１万口当たりの費用明細

2024年５月14日～2025年５月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	1	0.001
(株式)	(0)	(0.000)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(1)	(0.001)
(b)有価証券取引税	8	0.011
(株式)	(8)	(0.011)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	7	0.010
(保管費用)	(7)	(0.009)
(その他)	(1)	(0.001)
合計	16	0.022

期中の平均基準価額は、74,062円です。

※項目の概要については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

組入上位10銘柄

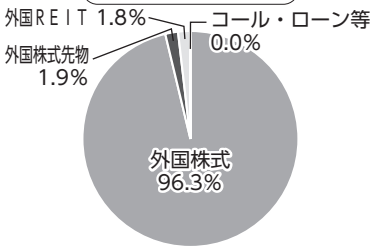
（組入銘柄数：1,169銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.6
2	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.5
3	NVIDIA CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.3
4	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.9
6	ALPHABET INC-CL A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.6
7	BROADCOM INC	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.4
8	TESLA INC	株式	アメリカ	自動車・自動車部品	1.3
9	JPMORGAN CHASE & CO	株式	アメリカ	銀行	1.1
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	株式	アメリカ	金融サービス	1.0

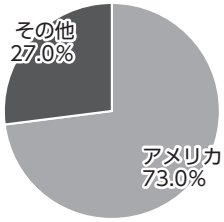
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※ＲＥＩＴを含めて表示しています。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

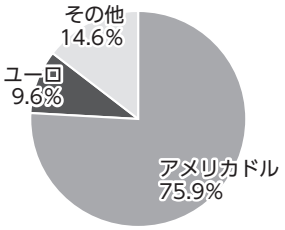
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『合成指数』について

当ファンドのベンチマークは、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合42％、ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）５％、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）33％、ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）17％、短期金融資産（有担保コール（翌日物））３％を合成した指数です。ベンチマークは、設定日を10,000として委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。ＴＯＰＩＸの指数値及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、ＭＳＣＩ コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、ＭＳＣＩ エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）

ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイド

ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ダイバーシファイドとは、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。